

見て、わかる

よくわかる共通書式の使い方

共通書式とは？

共通書式の特徴とは？



基本的な主張
反論を簡単に網羅

主張立証漏れ防止

計算ミスの
防止

充実した審理
手続の効率化

共通書式の中身とは？



※ 下線部をクリックすると、具体的な書き方を説明しているスライドに移動できます。

実際に書いて みましよう

お手元に共通書式を用意していただくと、より分かりやすくなります。

共通書式に書き込む前に（お願い）

見て、分かる

- 主張は、分かりやすく、シンプルにしてください。
- 主張の根拠となる証拠は、証拠番号などで特定してください。
- どの部分についての認否なのか、分かりやすく示してください。

自動入力（オートマ）でも、手入力（マニュアル）でも

- 文字や数字を入力すると、自動で転記・計算される項目があります。
- 手入力をすることもできます。

ファイル名の付け方（一例）



※ 担当裁判所の方針に沿って作成してください。

まずは「事案の概要」から

事案の概要

損害額一覧表

治療費等集計表

事案の概要から
損害額一覧表などに
自動入力される項目が
あります

治療費等集計表に
入力した内容が
損害額一覧表に
自動入力されます

記載の前に、ちょっと待って！

行の挿入・削除はできません！

- 行の挿入・削除をすると、自動入力機能がうまく作動しなくなります。

自動計算を使わない場合、計算方法等と併せて手入力を！

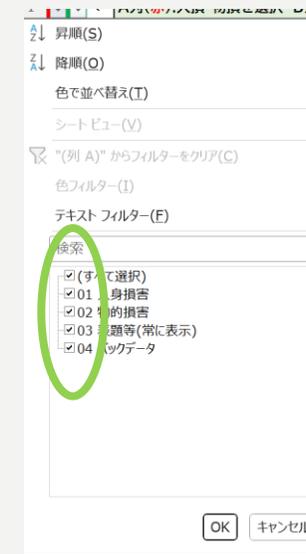
- 自動計算では、計算方法など、見解の対立がある部分を含みます。
- 異なる計算方法を主張する場合、採用する計算方法などを「理由等」で明示した上で、手入力をしてください。



① 人損・物損に応じたシンプルな表にする

A	B	C	D	E
1	▼	←	A列(赤):人身損害・物的損害を選択	
2			令和●年(ワ)第●●●●号	
3			(別紙)損害額一覧表	
4				
5			損害項目等 (人身損害)	
6				
7			治療費・文書料	
8			装具代	

クリックする
と……



どの一覧表でも使えます

- 入力手順も、どの一覧表でも同じです。

人損・物損に応じて、シンプルな表に

- A1の▼をクリックしてください。
- 事案に応じ、「01 人身損害」か「02 物的損害」の☑を外してください。

① 「事案の概要」の書き方

① 事故の発生

- 交通事故証明書が手元に置いて、記載してください。
- 現場の状況や事故態様は、**なるべく争いのないように**記載してください。

② 責任原因

- 根拠条文はリストから選べます。
- 具体的な義務（条文等）を指摘して、記載してください。

③ 受傷内容等

- 治療経過は、レセプト等を手元に置いて、記載してください。
- 後遺障害は、具体的な部位・内容などを指摘して、その内容に応じた等級を記載してください。

A列(赤):人身損害・物的損害を選択 B列(緑):入力のない行を非表示に																																																																																																																																																																	
<p>（別紙）</p> <p>令和●年(フ)第●●●●号 原告 ○○ 被告 ○○</p> <p>最終更新日: R8.1.1(木) 最終更新者: 原告(ら)代理人</p> <h3>事案の概要</h3> <p>1 事故の発生 (※なるべく争いのないように簡潔に記載してください。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">原告側主張等</th> <th>証拠</th> <th colspan="2">被告側主張等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日時</td> <td>R6.1.1</td> <td>18:00頃</td> <td>場所</td> <td colspan="2">東京都千代田区霞が関〇丁目〇番地</td> </tr> <tr> <td>現場の状況</td> <td colspan="3">信号機により交通整理のなされている十字路交差点(南北方向と東西方向の道路が交差)</td> <td colspan="2">甲1:交通事故証明書 甲2の3:実況見分調書</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">関係車両等</td> <td>原告側</td> <td>普通自動二輪車</td> <td>登録番号</td> <td colspan="2">品川〇〇-〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>運転者</td> <td>原告</td> <td>所有者</td> <td colspan="2">原告</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">被告側</td> <td>普通貨物自動車</td> <td>登録番号</td> <td colspan="2">横浜△△-△△△</td> <td>甲1、甲2の10:車検証</td> </tr> <tr> <td>運転者</td> <td>被告</td> <td>所有者</td> <td colspan="2">不明</td> </tr> <tr> <td>態様</td> <td colspan="5">原告車が南北方向の道路を対面青信号で交差点に進入したところ、右方交差道路から被告車が対面赤信号に反して交差点に進入し、双方が出合い頭に衝突した。</td> <td>甲2の3、甲3:被告車のドラレコ映像</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 責任原因 (※なるべく争いのないように簡潔に記載してください。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>責任主体</th> <th colspan="2">原告側主張等</th> <th>証拠</th> <th colspan="2">被告側主張等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被告</td> <td>民法709条</td> <td>対面赤信号に違反して交差点に進入した過失により本件事故を発生させた。</td> <td>甲2の3、甲3</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 受傷内容等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">原告側主張等</th> <th>証拠</th> <th colspan="2">被告側主張等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受傷者</td> <td>原告</td> <td>生年月日: S60.2.1 職業: 会社員</td> <td>事故時 38 歳</td> <td>甲1</td> <td>甲11:休業損害証明書</td> </tr> <tr> <td>傷病名</td> <td colspan="2">右足骨折、頸椎捻挫、腰椎捻挫</td> <td></td> <td colspan="2">甲4:診断書</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">治療経過</td> <td>医療機関等</td> <td>入院/通院</td> <td>開始</td> <td>終了</td> <td>入院</td> <td>未通院</td> </tr> <tr> <td>A整形外科</td> <td>入院</td> <td>R6.1.1</td> <td>R6.1.31</td> <td>31</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>A整形外科</td> <td>通院</td> <td>R6.2.1</td> <td>R6.10.31</td> <td>-</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>B医院(画像診断専門) (入院重複)</td> <td>通院</td> <td>R6.3.1</td> <td>R6.3.15</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>症状固定日(治療終了日)</td> <td>R6.10.31</td> <td>右足</td> <td>事故から約 10.1 か月</td> <td>当時 39 歳</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R6.10.31</td> <td>頸椎・腰椎</td> <td>事故から約 10.1 か月</td> <td>当時 39 歳</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">後遺障害</td> <td colspan="2">部位・内容等</td> <td>自賠責認定等級</td> <td colspan="2">原告側主張等級</td> </tr> <tr> <td colspan="2">右膝の可動域制限・疼痛</td> <td>非該当</td> <td colspan="2">12級7号又は13号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">腰椎(椎間板ヘルニア)による疼痛</td> <td>非該当</td> <td colspan="2">12級13号</td> </tr> <tr> <td>原告側主張</td> <td colspan="5">右膝は左膝よりも可動域が狭く、画像所見のある疼痛も残存している。 腰椎椎間板ヘルニアにも画像所見がある。</td> <td>甲9:後遺障害診断書、甲10:後遺障害認定結果通知書 甲5:MRI画像診断、甲8:主治医の意見書</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="5"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																項目	原告側主張等		証拠	被告側主張等		日時	R6.1.1	18:00頃	場所	東京都千代田区霞が関〇丁目〇番地		現場の状況	信号機により交通整理のなされている十字路交差点(南北方向と東西方向の道路が交差)			甲1:交通事故証明書 甲2の3:実況見分調書		関係車両等	原告側	普通自動二輪車	登録番号	品川〇〇-〇〇〇		運転者	原告	所有者	原告		被告側	普通貨物自動車	登録番号	横浜△△-△△△		甲1、甲2の10:車検証	運転者	被告	所有者	不明		態様	原告車が南北方向の道路を対面青信号で交差点に進入したところ、右方交差道路から被告車が対面赤信号に反して交差点に進入し、双方が出合い頭に衝突した。					甲2の3、甲3:被告車のドラレコ映像	責任主体	原告側主張等		証拠	被告側主張等		被告	民法709条	対面赤信号に違反して交差点に進入した過失により本件事故を発生させた。	甲2の3、甲3			項目	原告側主張等		証拠	被告側主張等		受傷者	原告	生年月日: S60.2.1 職業: 会社員	事故時 38 歳	甲1	甲11:休業損害証明書	傷病名	右足骨折、頸椎捻挫、腰椎捻挫			甲4:診断書		治療経過	医療機関等	入院/通院	開始	終了	入院	未通院	A整形外科	入院	R6.1.1	R6.1.31	31	-	A整形外科	通院	R6.2.1	R6.10.31	-	51	B医院(画像診断専門) (入院重複)	通院	R6.3.1	R6.3.15	-	1	症状固定日(治療終了日)	R6.10.31	右足	事故から約 10.1 か月	当時 39 歳				R6.10.31	頸椎・腰椎	事故から約 10.1 か月	当時 39 歳			後遺障害	部位・内容等		自賠責認定等級	原告側主張等級		右膝の可動域制限・疼痛		非該当	12級7号又は13号		腰椎(椎間板ヘルニア)による疼痛		非該当	12級13号		原告側主張	右膝は左膝よりも可動域が狭く、画像所見のある疼痛も残存している。 腰椎椎間板ヘルニアにも画像所見がある。					甲9:後遺障害診断書、甲10:後遺障害認定結果通知書 甲5:MRI画像診断、甲8:主治医の意見書	その他						
項目	原告側主張等		証拠	被告側主張等																																																																																																																																																													
日時	R6.1.1	18:00頃	場所	東京都千代田区霞が関〇丁目〇番地																																																																																																																																																													
現場の状況	信号機により交通整理のなされている十字路交差点(南北方向と東西方向の道路が交差)			甲1:交通事故証明書 甲2の3:実況見分調書																																																																																																																																																													
関係車両等	原告側	普通自動二輪車	登録番号	品川〇〇-〇〇〇																																																																																																																																																													
	運転者	原告	所有者	原告																																																																																																																																																													
被告側	普通貨物自動車	登録番号	横浜△△-△△△		甲1、甲2の10:車検証																																																																																																																																																												
	運転者	被告	所有者	不明																																																																																																																																																													
態様	原告車が南北方向の道路を対面青信号で交差点に進入したところ、右方交差道路から被告車が対面赤信号に反して交差点に進入し、双方が出合い頭に衝突した。					甲2の3、甲3:被告車のドラレコ映像																																																																																																																																																											
責任主体	原告側主張等		証拠	被告側主張等																																																																																																																																																													
被告	民法709条	対面赤信号に違反して交差点に進入した過失により本件事故を発生させた。	甲2の3、甲3																																																																																																																																																														
項目	原告側主張等		証拠	被告側主張等																																																																																																																																																													
受傷者	原告	生年月日: S60.2.1 職業: 会社員	事故時 38 歳	甲1	甲11:休業損害証明書																																																																																																																																																												
傷病名	右足骨折、頸椎捻挫、腰椎捻挫			甲4:診断書																																																																																																																																																													
治療経過	医療機関等	入院/通院	開始	終了	入院	未通院																																																																																																																																																											
	A整形外科	入院	R6.1.1	R6.1.31	31	-																																																																																																																																																											
	A整形外科	通院	R6.2.1	R6.10.31	-	51																																																																																																																																																											
	B医院(画像診断専門) (入院重複)	通院	R6.3.1	R6.3.15	-	1																																																																																																																																																											
症状固定日(治療終了日)	R6.10.31	右足	事故から約 10.1 か月	当時 39 歳																																																																																																																																																													
	R6.10.31	頸椎・腰椎	事故から約 10.1 か月	当時 39 歳																																																																																																																																																													
後遺障害	部位・内容等		自賠責認定等級	原告側主張等級																																																																																																																																																													
	右膝の可動域制限・疼痛		非該当	12級7号又は13号																																																																																																																																																													
	腰椎(椎間板ヘルニア)による疼痛		非該当	12級13号																																																																																																																																																													
原告側主張	右膝は左膝よりも可動域が狭く、画像所見のある疼痛も残存している。 腰椎椎間板ヘルニアにも画像所見がある。					甲9:後遺障害診断書、甲10:後遺障害認定結果通知書 甲5:MRI画像診断、甲8:主治医の意見書																																																																																																																																																											
その他																																																																																																																																																																	

② 「損害額一覧表」の書き方

8つの表があります

- 上から順に、①人身損害、②物的損害、③基本データ、④休業損害、⑤逸失利益、⑥労災保険金等充当・人身傷害保険金充当、⑦バックデータです。
- ⑧試算欄は、損害額の試算など、自由にお使いください。

積極損害

(1)

- 「治療費・文書料」、「通院交通費」の項目名（ハイパーリンク）をクリックすると、治療費等集計表に移動します。
- 治療費・文書料、通院交通費は、治療費等集計表から自動入力されます。
- 療養費は労災療養給付の充当対象です。対象外とする場合、「その他積極損害」に入力してください。

損害項目等		原告側主張等		被告側主張等		試算1					
	金額等	理由等	証拠	金額等	理由・証拠等	金額等	備考				
人身損害											
治療費・文書料	¥701,100	治療費等集計表の通り				¥570,900					
検具代											
入院雑費		{例}0000円×00日									
入院付添費		{例}0000円×00日									
通院交通費	¥18,200	治療費等集計表の通り				¥18,200					
(この行より上に入力してください)											
将来介護費											
(この行より上に入力してください)											
その他積極損害											
(この行より上に入力してください)											
休業損害	¥3,020,000	休業損害計算書の通り				¥1,200,000					
逸失利益	¥27,395,586	逸失利益計算書の通り				¥27,395,586					
(この行より上に入力してください)											
通院診療料	¥1,700,000	任意上巻の別表1(入院1か月、通院9か月)				¥1,700,000					
処置料	¥4,200,000	併合11紙相当				¥4,200,000					
(この行より上に入力してください)											
小計	¥37,034,886			¥0		¥35,084,686					
素因減額率	0%			0%		0%					
素因減額	¥0			¥0		¥0					
素因減額後	¥37,034,886			¥0		¥35,084,686					
過失相殺率	0%			0%		0%					
過失相殺	¥0			¥0		¥0					
過失相殺後	¥37,034,886			¥0		¥35,084,686					
任意保険金(治療費)	¥-570,900			¥0		¥-570,900					
任意保険金(その他)	¥0			¥0		¥0					
労災保険金等	¥0	給付額: ¥0 充当額は左記金額		¥0	給付額: ¥0 充当額は左記金額	¥0	給付額: ¥0 充当額は左記金額				
人身傷害保険金	¥0	支払額: ¥0 充当額は左記金額		¥0	支払額: ¥0 充当額は左記金額	¥0	支払額: ¥0 充当額は左記金額				
自賠責保険金	¥0			¥0		¥0					
(この行より上に入力してください)											
控除後	¥36,463,986			¥0		¥34,513,786					
弁護士費用	¥0			¥0		¥0					
その他											
合計	¥36,463,986			¥0		¥34,513,786					
⑧											
損害項目等 (物的損害)		原告側主張等		被告側主張等		試算1					
	金額等	理由等	証拠	金額等	理由・証拠等	金額等	備考				
物的損害											
車両修理費	¥0					¥0					
レッカー費用	¥0					¥0					
代車費用	¥0					¥0					
(この行より上に入力してください)											
小計	¥0			¥0		¥0					
過失相殺率	0%			0%		0%					
過失相殺	¥0			¥0		¥0					
過失相殺後	¥0			¥0		¥0					
車両保険金	¥0	支払額: ¥0 充当額は左記金額		¥0	支払額: ¥0 充当額は左記金額	¥0	支払額: ¥0 充当額は左記金額				
(この行より上に入力してください)											
控除後	¥0			¥0		¥0					
弁護士費用	¥0			¥0		¥0					
その他											
合計	¥0			¥0		¥0					
②											
基本データ		原告側主張等		証拠		被告側主張等		試算1		備考	
生年月日	S60.02.01			S60.02.01				S60.02.01			
事故年月日	R06.01.01			R06.01.01				R06.01.01			
事故時年齢	38歳			38歳				38歳			
控訴固定日	R06.10.31			R06.10.31				R06.10.31			
控訴固定時年齢	39歳			39歳				39歳			
法定利率	3%			3%				3%			
③											

③ 「治療費等集計表」の書き方

1行 1レセプト (I)

- レセプトを手元に置いて、記載してください (1行につき、1レセプト)。
- 医療機関等は、「事案の概要」に記載した医療機関等をリストから選べます。薬局等は、手入力で記載してください。
- 備考欄には、症状固定日などの情報などを記載してください。

通院交通費 (II)

- 片道の金額を入力すると、自動で計算されます。

Excel spreadsheet showing the 'Treatment Fee Collection Table' (治療費等集計表). The table is divided into two main sections: 'Inpatient Fees' (入院費) and 'Outpatient Transportation Fees' (通院交通費).

Section I: Inpatient Fees (治療費-文書料)

原告側主張等	年月	入院	通院	金額	証拠	備考	被告側主張等	試算1	試
A整形外科	R6.1	31日		¥357,800	甲4			¥357,800	
A整形外科	R6.2		10日	¥48,500	甲4			¥48,500	
A整形外科	R6.3		8日	¥37,800	甲4			¥37,800	
A整形外科	R6.4		7日	¥36,500	甲4			¥36,500	
A整形外科	R6.5		6日	¥32,400	甲4			¥32,400	
A整形外科	R6.6		5日	¥28,500	甲4			¥28,500	
A整形外科	R6.7		5日	¥29,400	甲4			¥29,400	
A整形外科	R6.8		5日	¥28,600	甲4				
A整形外科	R6.9		3日	¥18,600	甲4				
A整形外科	R6.10		2日	¥14,500	甲4				
B医院(画像診断専門)	R6.3		1日	¥68,500	甲5				
合計		31日	52日	¥701,100			¥0	¥570,900	

Section II: Outpatient Transportation Fees (通院交通費)

原告側主張等	片道	日数	金額	証拠	備考	被告側主張等	試算1	試
A整形外科	¥150	51日	¥15,300	甲7			¥15,300	
B医院(画像診断専門)	¥1,450	1日	¥2,900	甲7			¥2,900	
合計			¥18,200			¥0	¥18,200	

Additional notes and summary tables are present at the bottom of the spreadsheet, including a 'Printed' notice and a 'Summary of Hospitalization' table.

④ 「相続等一覧表」の書き方

相続人の情報は
正確に
(i)

- 続柄、相続分に誤りがないようにしてください。

固有の損害は
損害額一覧表と
同じ設計
(ii)

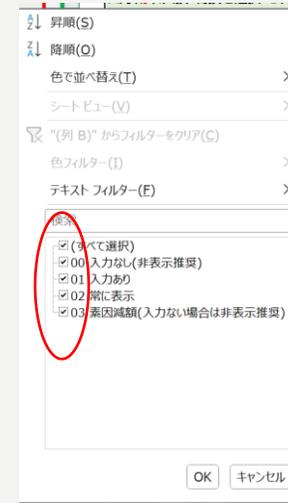
- 固有の損害、素因減額、過失相殺、損益相殺を、それぞれ記載してください。

被相続人の損害額: ¥106,466,840		金額等			理由等	証拠	被告側主張等	
原告名	続柄	〇〇花子	〇〇一部	〇〇次部			主張	証拠
〇〇花子	配偶者		子	子		甲B		
〇〇一部	子		子					
〇〇次部	子							
	合計							
		1/2	1/4	1/4				
相続分		1/2	1/4	1/4				
相続額		¥53,233,420	¥26,616,710	¥26,616,710	¥0			
近親者慰謝料		¥2,000,000	¥1,500,000	¥1,500,000				
素因減額率		0%	0%	0%	0%			
素因減額		¥0						
素因減額後		¥2,000,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0			
過失相殺率		0%	0%	0%	0%			
過失相殺減額		¥0						
過失相殺減額後		¥2,000,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0			
固有の損害・相続額小計		¥55,233,420	¥28,116,710	¥28,116,710	¥0			
損害の填補								
控除後		¥55,233,420	¥28,116,710	¥28,116,710	¥0			
弁護士費用								
請求額合計(人損)		¥55,233,420	¥28,116,710	¥28,116,710	¥0			
物損		金額等			理由等	証拠	被告側主張等	
被相続人の損害額: ¥0		〇〇花子	〇〇一部	〇〇次部			主張	証拠
原告名	続柄	配偶者	子	子				
相続分		1/2	1/4	1/4				
相続額		¥0	¥0	¥0	¥0			
過失相殺率		0%	0%	0%	0%			
過失相殺減額		¥0						
過失相殺減額後		¥0	¥0	¥0	¥0			
固有の損害・相続額小計		¥0	¥0	¥0	¥0			
損害の填補								
控除後		¥0						
弁護士費用								
請求額合計(物的損害)		¥0	¥0	¥0	¥0			

⑤ 入力していない項目を非表示にする

	A	B	C	D	E
1	▼	▼	←	A列(赤):人身損害・物的損害を選択	
2				令和●年(ワ)第●●●●号	
3				(別紙)損害額一覧表	
4					
5				損害項目等 (人身損害)	
6					
7				治療費・文書料	
8				装具代	

クリックすると……



どの一覧表でも使えます

- 入力手順も、どの一覧表でも同じです。

入力されていない行を、表示させません

- 各項目の入力後、B1の▼をクリックしてください。
- 「00 入力なし」、「03 素因減額」の☑を外してください。

こんなとき、どうする？

複数の被害者がいる場合、どうすればいい？

- 被害者ごとに共通書式を作成することが考えられます（複数のファイル）。
- 担当裁判所の方針に沿って作成してください。

自動計算を使いたくないのだけれど。

- 自動で計算される項目でも、手入力をすることができます。
- 自動計算される項目で手入力をする場合には、採用する計算方法などを「理由等」で明示してください。

ぜひ、使ってみてください



実際に使ってみたい



共通書式へGO!



もっと詳しく知りたい



詳細版のマニュアルへGO!

